

平成28年11月10日

愛知県上海産業情報センター  
余語 克昭

一般調査報告書  
江蘇南通蘇通科技産業園区について

愛知県と中国江蘇省は、1980(昭和55)年7月に友好提携を締結して以来、文化・教育・経済等、様々な分野で交流を続けています。

江蘇省を含む長江下流デルタ地域は、元・明の時代から経済的先進地域であり、2015年の江蘇省の域内総生産額(GDP)は7兆116億4,000万元(前年比8.5%増)、全国で第2位となっています。また一人当たりGDPも87,995元(全国第2位)、中国全体の一人当たりGDPが49,351元であることを考えると、非常に経済力のある地域であることが分かるかと思えます。

このように経済発展が目覚ましい江蘇省には、愛知県企業も多数進出しており、149社が220拠点に進出(平成27年12月末現在/あいち産業振興機構調べ)し、同省内においてビジネスを展開されています。

同省内には多くの経済技術開発区があり、日系を含め多数の外資系企業が立地していますが、その中で、南通市にある「蘇通科技産業園区」を訪問しましたので、ご紹介したいと思います。

## 1 南通市について

南通市は、江蘇省の東南部、長江入海口の北岸に位置する地級市です。2015年のGDPは6148.4億元に達し、中国都市別ランキングでは22番、江蘇省内では4番目となっています。1980年代から、アパレル産業をはじめ、東レ、帝人、王子製紙などに代表される多くの日系企業が進出しています。

市の南は長江、東は黄海に面しています。同市は、226キロメートルの川岸線と210キロメートルの海岸線を有し、江蘇省で唯一の川と海の両方に面している市であり、中国政府が最初に設置した14の沿海対外開放都市の一つでもあります。

長江を挟んで上海、蘇州(常熟)と対しており、上海市まで車で約120キロメートル、蘇州市まで車で約100キロメートルの位置にあります。以前は長江を船で渡らなければならず、上海から訪れる際も天候や船の運航状況により非常に時間がかかったそうですが、2008年に蘇州市・常熟市と南通市を

結ぶ蘇通大橋（蘇通長江公路大橋）、2011年に上海と連絡する崇啓大橋が完成したことにより、非常に利便性が高まり、上海一時間経済圏内に入るとともに、長江デルタ地域のその他の都市へ行くのにも非常に便利な立地となりました。さらに、市北部（市内より18キロメートル）には南通興東空港があり、中部国際空港からの定期便も就航しています。

また南通市は、中国で「基礎教育の郷」と称される非常に教育水準の高い街として知られており、「高考（全国普通高等学校招生入学考試）の結果は江蘇省を、江蘇省の高考の結果は南通市を見よ」との言葉があるほどで、全国普通高等学校招生入学考試においては、全国1位の江蘇省の中で、さらに南通市が省内1位となることも多いとのこと。

## 2 蘇通科技産業園区について

次に、蘇通科技産業園区についてご紹介します。

### （1）沿革・概要

2008年11月、シンガポールで行われたシンガポールー江蘇省合作理事会第二回会議において、蘇州と南通の両市は共同で『合作開発意向書』を締結しました。蘇通科技産業園区は、シンガポールー江蘇省合作理事会における重要プロジェクトであり、長江の兩岸にある蘇州市と南通市の共同開発プロジェクトとして、姉妹園区である中新蘇州工業園区の成功経験を踏まえて、シンガポールの先進的な計画開発理念及び国際慣例に従う管理体制を導入し、蘇通大橋の北側に位置するハイテク型、エコ型、かつ総合的な国際科学技術新区として建設されました。

蘇通科技産業園区は「江蘇省沿海地域開発」及び「長江デルタの一体化発展」の二つの国家重点戦略が交差する重点地域であり、長江デルタにおける体制革新の模範地域、科学技術発展の先導地域、先進的な産業の集中地域、また現代長江文明を代弁する新たな港湾として、長江デルタ地域の先端産業及び全世界のエリートを集める集積地となることを目指しています。

### （2）交通アクセス

南通市が長江を挟んで上海、蘇州と対する好立地であることは先にも述べましたが、蘇通科技産業園区は、南通市の南端・長江の北側に位置し、上海・蘇州・無錫、南通からなるトライアングルの中心に位置しています。また、蘇通科技産業園区からほど近い南通港は、長江下流の開放型・多機能・総合的な大港で、中国十大港の一つとなっています。国家の主な中枢港湾・国家第一類の対外開放港であり、上海国際航運センターを構成する一部になって

います。

(参考) 南通市から各都市及び空港へのおおよその距離

各都市	上海市	蘇州市	南京市	杭州市
距離 (k m)	99	82	200	208

空 港	南通興東空港	無錫碩放空港	上海虹橋空港	上海浦東空港
距離 (k m)	16	98	97	151

### (3) 特色、産業計画

蘇通科技産業園区は、長江デルタ地域における新興産業園区として、以下のような特色を有しています。

- ・ 革新的な当局の政策、及び人間本位の理念を徹底した行政サービス
- ・ 先進的な園区計画
- ・ 独特な地域的優位性
- ・ 完備されたインフラストラクチャー
- ・ 充実した人材の蓄積
- ・ 快適な生活環境

上述したように、中新蘇州工業園区の成功経験を踏まえ、シンガポールの先進的な計画開発理念及び国際慣例に従う管理体制を導入し、「効率、透明、公平、規範」という政府サービス体系を展開するとともに、江蘇省政府は、蘇通科技産業園区に対し、プロジェクトに対する省・直轄市レベルの管理権限付与、税制支援、用地政策、金融支援、ハイテクプロジェクト・アウトソーシングプロジェクト及び人材育成等に対するサポート等、複数の支援措置を与えています。園区招商局へのヒアリングでは、同園区の特色として、江蘇省政府から特別な許可を得て、長江デルタ地域の中でも特に企業に対して格別な財税支援ができることが特色として挙げられました。これらの措置の活用は、企業の運営コスト削減において非常に効果的と受け止めました。

また、蘇通科技産業園区は、「ハイテク、高付加価値、密接な協力関係及び大きな産業規模」を発展目標として、先進的な製造業と現代的サービス業の発展を推進し、以下の3+Nの産業を積極的に誘致し、総合的な実力の向上を図っています。

- ・ 精密機械製造業（自動車関連産業、航空関連産業等）
- ・ 先端電子情報産業（集積電子回路産業、高性能ブロードバンド情報網産業、次世代無線ブロードバンド通信業等）
- ・ 現代的サービス業（ビジネス貿易サービス業、アウトソーシング業、

- 観光業、不動産業、科学技術開発業、金融業等)  
・「N」産業 (園区の開発を推進できるその他の製造業、サービス業－食品産業、養老施設等)

蘇通科技産業園区には、居住エリア等を挟んで東西二つの工業地区が設けられ、レジヤ施設も含め、総合的な街としての開発が進められています。同園区では、上海等都市部のコスト高騰等による中国内からの移転も視野に、積極的に誘致活動を展開しています。園区内には、園区により設置されたレンタル工場（主に電子工場7棟、機械工場12棟、事務総合ビル1棟から構成）の他、民間企業運営によるレンタル工場もあり、中小企業の進出も積極的に誘致しています。



レンタル工場棟

### 3 最後に

実際に進出を検討される際には、投資環境はもちろん、現地へ訪れて、様々な環境についても確認されることが大切です。

本稿には、経済開発区に進出するにあたっての諸費用や優遇施策、詳細なインフラ設備等、案件の規模や時期による変動の恐れのある情報は記載しておりませんが、中国における事業展開をお考えの際には、本県上海事務所へ、お気軽にお問い合わせをいただければと思います。

上海産業情報センターでは、今後も引き続き中国の経済開発区について、情報提供していきたいと思います。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。  
上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力していますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否は読者の判断で行ってください。  
また、万一不利益を被る事態が生じましても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。